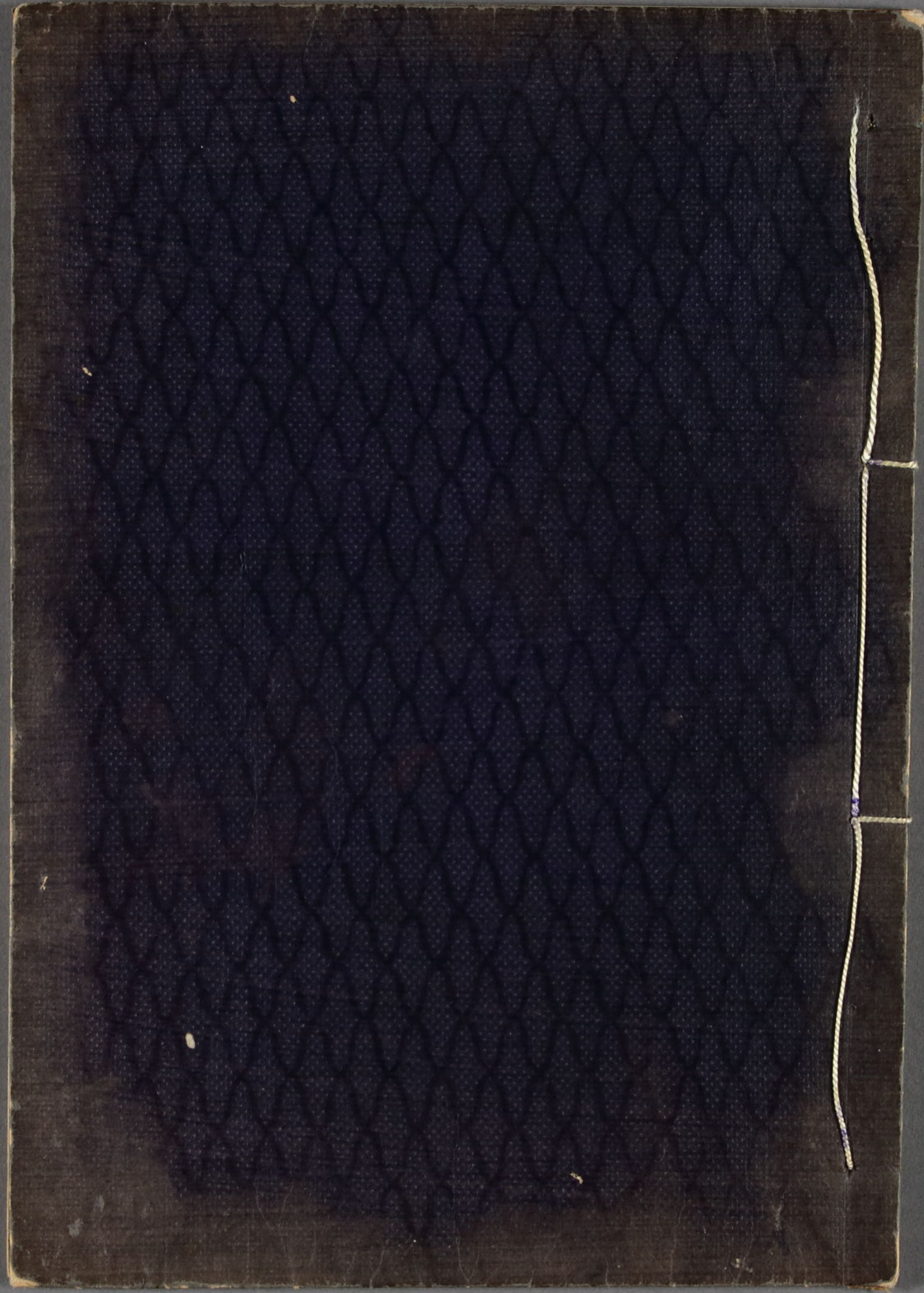




大坂
之
歌
而吟

て
る
き
か

名心非公より士庶交平に對
他從之憶之懷謂此个
盛なりと下るに消愁に
生懐なり瘵なり此を
りけも親おに教て雪月
記乃之吟みなり南方に樂

城抄くものちあさうやあは
物な寺こる改す也北人僧の
道をもつるあさう心を勵
大くさぬ此行時供事
寺に追いかけてかや
延寶九は
賀子序

花 賀子
祖母なるは嫂落もーて夕嵐
念者五年目柳り刺刀西
妻の面玉ハ珊樹をもつハれ同
たちよりハ老毒鏡の山子
世の中は朝あふる其分利同
祈状被の海士の月の上霧
約束れ縄とり後ハ袖ハ月同
あーたを待つ動撞の家子

ウ
蟻^{カゲ}蛉^ロ此野はくれなを留^{トメ}菜^ナ同
以上三ぶく、り飛る川霧
祖^デ父^イや伯^オ母^バ此月日あつる筋同
是で又廻^エ向^{カウ}のりぬはまきまで子
衆^リ迦^チ律^チ系^キ末^マ法^{ホウ}の時^{トキ}船^{フネ}子^コ同
玉^{タマ}多^タをゆくもふは又又
休^{オモカゲ}れ自^ジ憐^{レン}うりて悪^{アク}本^{ホン}食^シ同
小野小町此糖^{カネ}味^{アジ}噌^{ソウ}の桶^{バケ}子^コ
風のお湯^ユ土^ツの焼^{ヤケ}所^{トコロ}を憐^{レン}うて同

ニ
御^ミ用^{ヨウ}またぬ思^{オモ}あ、此門^{カド}霧^キ
老^{ライ}未^ミの床^{トコ}隙^キへく、何^{ナニ}と松^{マツ}同
ちや、呼^{ヨビ}ますや常^{トキ}盤^ハなる松^{マツ}子^コ
やきぬ、候^{サガ}哉^ガを此冬^{フユ}月^{ツキ}定^{サダメ}同
火^ヒ宅^{タク}の車^{クルマ}ふれ井^イ戸^ド人^{ヒト}病^{ヤメ}
娑^{シャ}波^ハ苦^クの秋^{アキ}去^サ年^{ネン}じなる菜^ナ切^キ同
下^ゲ種^スといひも此祭^{マツル}る時^{トキ}子^コ
丈^{ソレ}廣^{ヒロ}一^{ヒト}三十^{サンジュウ}丈^{ハシロ}此拘^{カハ}帶^{オビ}同
七^{ナニ}帝^{カミ}あめ室^{ムロ}町^{チヨウ}通^{トウ}り霧^キ

談^{ヨミ}上^{アゲ}より夏^{ナツ}は中^{ナカ}比^ヒ山^{ヤマ}伏^{フス}山^{ヤマ}同
るのきろてハ丸^{マル}品^{ホシ}の淨^{スガ}土^{ツチ}子^コ
兵^{ヘイ}粮^{リョウ}はめ夏^{ナツ}れうき橋^{ハシ}おおとー同
ふろ津^ツ借^カ銭^{ゼン}よとそこのろく病^{ヤマト}
何もせでん病^{ヤマト}歩^{アル}けたまれ都^ツ云^{クモ}同
太^{タイ}鼓^コ上^{ウラウラ}弱^{ヤウ}
以^モ為^ク板^{イタ}をカよとてハ拾^{シヨウ}遺^イト同
可^カ惜^{タク}まろごこのろく骨^{コネ}曲^{マド}弱^{ヤウ}
蛇^{ヘビ}の錯^{サカシ}のせうふと来^キ秋^{アキ}の月^{ツキ}同

み葉^ハのろくど山^{ヤマ}號^{ガク}のむ子^コ
家^{イヘ}雲^{クモ}を分^{バイ}のつてみこれども同
どろて死^シ脉^{マキ}の浪^{ナミ}風^{フウ}の病^{ヤマト}弱^{ヤウ}
穢^{エタ}ぬのろくは比^ヒて今^{イマ}ぞ知^チ同
是^{コノ}の銀^{ギン}ハ車^{クルマ} 善^{ゼン}七^{シチ}子^コ
一番^{イチバン}ろくをハぎたるそ中^{ナカ}は同
松^{マツ}はけろへく伴^{バン}勢^{セイ}れも友^{トモ}同
大^{ダイ}定^{テイ}や日^ヒた志^シれぬる三^{サン}羽^ウ同
先^{サキ}ッ本^{ホン}腰^{ヨシ}ハ貝^{カイ}やきの海^{ウミ}子^コ

談文の仲人目口とて重なり
まごみぬ悪くは依り瑠璃格
昇てけ茶毘は花のたぐく同
七日さくをく夜の門口子
鬼の腕のさくして降勝月同
夏は夏休免地獄極楽霧
声をとのこ産湯沸るをまごみ同
年まゝ志ある下級の関子
よい中も能弁行思破ななり同

おうけ紐いふ乃土端襦袢
るうや蛇のうー山陽東同
正重の頭のこはぬけさぬみ子
中妻のちもまき立女も信はなり同
人あら改屋ハナニおそげり霧
思ひ火木賃てぬとぬんせ同
狩布よのころ銭ざを恨む子
大海目松風中おきむのり同
布并の案内ありてり霧

ウ
歌うちたち^{カサチ}つて涙^{ナミ}よく同
藻汐^{モシホ}のふり^フ持^モるの^ノ月子^{グハツ}
荻^ヒ落^{ツク}分^ハ且^ナ淋^シき秋^{アキ}を忘^{ワス}き儘^ト同
たより^{タヨリ}れ男^ヲ麻^マ匠^{シユ}歌^カあがり^キ病^{ヤミ}
泪^{ナミ}終^ハ年^{ネン}切^キす^テ竹^{タケ}具^グの小^コ野^ノ同
袖^{スベ}振^ヒ山^{ヤマ}やお仕^シ恙^{ヤス}せ乃^ナ外^{ソト}子^コ同
天^{テン}て女^メの^ノ心^{ココロ}と^トも^モお^オ志^シさ^サ同
鼻^{ハナ}終^ハみ^ミて^テ常^{ジョウ}々^々其^{ソノ}の^ノ通^{ツウ}路^ロ 露^{ツキ}
千^チ人^ニ折^セ定^サさ^サと^トめ^メた^タの^ノさ^サ又^{マタ}互^{タガヒ}の^ノ同

田^タ代^{シロ}が^ガ夏^{ナツ}より^リな^ナと^ト秋^{アキ}鳴^ネ子^コ
不^フ啖^{カン}叫^{ケル}秋^{アキ}の^ノ芭^バ蕉^{セウ}風^{フウ}と^ト同
二^ニ并^{タテマツ}依^ヨる^ル古^コ寺^{テラ}乃^ナ月^{グハツ}露^{ツキ}
そ^ソの^ノ海^{ウミ}生^{ナマ}死^シね^ネも^モへ^ヘば^バ四^シ寸^{スン}九^クぶ^ブ同
小^コ刀^{タガナ}と^トも^モ傍^{ナド}ら^ラも^モぬ^ヌも^モれ^レ子^コ
老^{ロウ}木^キの^ノ花^{ハナ}先^{サキ}を^ヲさ^サん^ンも^モお^オと^ト同
名^ナ子^シが^ガみ^ミえ^エ洗^{スイ}て^テ素^ソ弱^{ジャク}の^ノ者^{モノ}露^{ツキ}
木^キ偶^{ギョウ}を^ヲた^タふ^フ使^{ツカ}へ^ヘば^バ弥^ミ生^{シヨウ}山^{サン}同
骨^{サカサ}送^{ソウ}り^リの^ノす^スみ^ミを^ヲれ^レゆ^ユく^ク子^コ

丈夫^{シソ}如^ト婆^ハ親^ハより先^ハは泪^ハ面^ハ同
千^ヒ浮^{カタ}う海^ハなげく新^ハ風^ハ露^ハ
搬^{ガハ}太^ハ席^ハと一^ハ又^ハ二^ハ人^ハの三^ハ人^ハの同
うやうの病^ハみみせものよする子
今^ハ父^ハや母^ハも人^ハへも足^ハ鼎^ハ同
つるぎれ山^ハは中^ハなるうりじ
罪^{ツミ}重^{オモ}く苗^ハ庭^ハのけりてとて死^ハ同
肩^{ツボ}抱^ハひや一^ハ遍^ハ上^ハ人^ハ子
思^ハへば月^ハせんハ口^ハ話^ハのそととどめ同

あつたれとあつせう稲^{イナ}原^{ハラ} 多^ハ弱^ハ
姥^{ウバ}鴨^{カモ}ハ今^ハもせ拙^ハよりなり同
心^ハなきまの人の玉^ハれそ子
とりて岳^ハり花^ハを葉^ハ木^ハのたも風^ハ同
やまに生^ハれたハ呼^コ銭^{セン}の涙^ハ露^ハ
露^ハ龜^{カメ}もとや羽^ハよとる浪^ハの紋^ハ同
花^ハあがりを出^ハ次^ハつ春^ハの代^ハ子
岩^ハ杭^ハは虫^ハの分^ハも各^ハ別^ハや同
並^{ナミ}木^ハの松^ハの武^ハ及^ハ一^ハ流^ハ同

花の山勘介せよんひきて
それよこをり帰る大急同

賀子 五十句

西鶴 五十句

月

賀子

元は就男六秋の季てもりたが

一町能は二千里も 厩由平

南溟は怒るこころ 翅もろく同

鍵の穴より何のぞくらん子

隣家のあるあつる上ハ同

はちきりササ餅は先年

今こゝは麦枕の力ともかれ同

断湊なぐれや碎る人の友子

ウ
生^{ナミ}松^{マツ}はゆづめく^ミ初淋^{ハツレ}——平
あるふもく^ハれたが^ハ暇^マ目の夕暮^{タタミ}子
あもれ^ハ蔬^モを^ハは^ハも^ハ二人^{フタリ}の^ハ子^ハ平
とりあけ^ハ祖^ハ母^ハれ^ハむ^ハの^ハ子^ハ平
こそくと^ハ刺^ハて^ハの^ハけ^ハうと^ハい^ハふ^ハ髪^ハを^ハ平
門^ハの^ハさ^ハぬ^ハの^ハお^ハ下^ハり^ハと^ハあ^ハる^ハ子^ハ平
淀川^ハや^ハ仲^ハば^ハい^ハ波^ハを^ハい^ハつ^ハも^ハそれ^ハ平
さ^ハ——この^ハ卵^ハは^ハ汁^ハの^ハ子^ハを^ハあ^ハる^ハ子^ハ平
あ^ハい^ハや^ハい^ハあ^ハれ^ハが^ハう^ハば^ハは^ハる^ハふ^ハあ^ハる^ハ平

二
句^ハ引^ハぬ^ハぶ^ハて^ハ、^ハあ^ハる^ハれ^ハ横^ハお^ハき^ハ子^ハ
あ^ハい^ハい^ハさ^ハ当^ハ地^ハの^ハ秋^ハの^ハ風^ハハ^ハかう^ハ子^ハ
若^ハ衣^ハの^ハ浅^ハく^ハあ^ハる^ハ乃^ハ月^ハ子^ハ
口^ハ中^ハ磨^ハき^ハ——花^ハも^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハ平
あ^ハる^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハ子^ハ
二
時^ハを^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハあ^ハる^ハ同
雷^ハ本^ハ下^ハ次^ハは^ハ清^ハ水^ハの^ハあ^ハる^ハ子^ハ
星^ハ角^ハは^ハ二^ハの^ハ鉄^ハ橋^ハを^ハあ^ハる^ハ子^ハ
首^ハハ^ハ人^ハ——や^ハが^ハる^ハの^ハあ^ハる^ハ子^ハ

想は^ゴ証あき役者を述^カ規バ子
又そふくハ和^ワのうら波平
身^ミ族も皆吹上と来^キる子
蛇^{ヘビ}の柯^カよろきで舌^{ゼツ}なり子
胸^{ムネ}と人のこのふあさ^サのあ^アむ子
五百目包^{フクロ}はれふのけり子
死^シきたるあれお^オとるうお子
入^イ身^ミのたもい^イほせや月平
又^{マタ}いも響^{ウタ}のむ^ムが集^スなる子

け^ウ名^ナあ西^セのるを 夏^{ナツ}子
獨^{ヒト}り住^ス法師^{ホウシ}の^ノ山^{ヤマ}さび子
つれハ十六^{ナナサテ}夜^ヤむめ子
伊^イとれ湯^ユ日^{ニチ}の思^{オモ}ひるる子
お^オと版^{バン}とくこれ^{コレ}は^ハ中^{ナカ}子
そ^ソあ^アれ^レ梶^{カキ}原^{ハラ}洞^{ドウ}ハ^ハ龍^{リウ}子^コ
ま^マの^ノ水^{ミヅ}の^ノあ^アな^ナな^ナの^ノ秋^{アキ}子
い^イよ^ヨの^ノ流^{リウ}石^シの^ノ枕^{マクラ}き^キく子
の^ノあ^アな^ナの^ノ月^{ツキ}も^モあ^アい^イ平

世^セ後^ゴの^ノ家^ケ留^{タマ}ても何^{ナニ}の^ノ為^{タメ}なん子
座^{ウツ}勢^セの^ノ子^コ子^コを^ヲ玉^{キョク}芝^フ客^{ヨウ}平^{ヘイ}
自^{オノ}是^ジ。三^{サン}千^{セン}オ^オ一^{イチ}の^ノ鼻^{ハナ}毛^{モウ}の^ノ子^コ
佛^{ブツ}の^ノ玄^{ゲン}座^ザに^ニよう^{よう}喰^クの^ノを^ヲ握^{ニギ}平^{ヘイ}
花^{ハナ}は^ハ定^{テイ}又^{マタ}香^{カウ}芝^セ志^シして^{シテ}胡^コ麻^マ埴^ヂの^ノ子^コ
玄^{ゲン}波^ハも^モた^タて、^{ニミ}縛^{バク} 吟^{ギン}ずる^ル平^{ヘイ}
三^ミ 东^{トウ}風^{フウ}競^{キョウ}ふ^フ三^{サン}毛^{モウ}を^ヲて^テハ^ハい^イぎ^ギこ^コを^ヲ同^{ドウ}
山^{サン}を^ヲふ^フて^テ藏^{ゾウ}出^{シュツ}の^ノ子^コ子^コ
を^ヲ埋^マ桑^{サウ}未^ミる^ルへ^ヘく^ク際^{サイ}捨^{ガキ}や^ヤ平^{ヘイ}

柴^シより^{ヨリ}あり^{アリ}縄^{ナフ}ぶ^ブの^ノ子^コ子^コ
牛^{ウシ}と^トあ^アて^テ上^ウ張^ハの^ノむ^ム親^{シン}も^モな^ナし^シ 平^{ヘイ}
居^ス風^{フウ}呂^ロは^ハよ^ヨつ^ツて^テ耳^{ミミ}洗^{セン}ふ^フの^ノ子^コ
ち^チよ^ヨり^リけ^ケり^リを^ヲて^テ自^ジ利^リせ^セう^ウと^ト 平^{ヘイ}
す^スこ^コの^ノ子^コ子^コが^ガ下^ゲ疵^カと^トあ^アて^テ 子^コ
其^{ソノ}又^{マタ}泪^{ナミダ}た^タで^デん^ンも^モく^クは^ハ又^{マタ}い^イは^ハく^ク 平^{ヘイ}
な^ナふ^フこ^コち^チれ^レ人^{ニン}ら^ラま^マで^デハ^ハ世^セ常^{ジョウ}も^モ子^コ
刃^ヤを^ヲ施^シふ^フる^ルて^テ、余^ヨに^ニへ^ヘや^ヤう^ウの^ノ平^{ヘイ}
ど^ドこ^コを^ヲた^タめ^メる^ルも^モ年^{ネン}は^ハ二^ニ十^{ジュ}目^メ子^コ

祢^ネ衣^{ユカ}袖^{タテ}は秋^{アキ}毎^{ゴト}の月^{ツキ}をなす 平
栗^{ササ}ぎやるやそ時^{トキ}乃^ナ萩^{ハギ}子
るもせだあつく舊^{ウレ}のいさうは 平
こいつをすてんや返^ヘ衣^{ユカ}なは子
大^{オホ}殿^{ノミヤ}のお目^メをのまめめたが義^ギ平
中^{ナカ}入^イのれ傳^{デン}風^{フウ}をいすれな子
いとなれちよははけて無^ム悲^ヒい床^{トコ}の 平
親^{オヤ}仁^ニはあつれて悲^{アハ}化^カはなは子
舞^{マユ}ハ留^ル古^コ月^{ツキ}の懸^ケろとみて下^{シタ}の 平

夕^{タタ}アともぬぬ翁^{ラウ}興^{キョウ}の 風^{フウ}子
打^ウスべき不動^{フドウ}の志^シをそそ分^{ワケ}て 平
二^ニ文^{ブン}四^シ文^{ブン}よ新^{シン}詩^シ乃^ナ月^{ツキ}子
きめくは城^{シヤウ}を^{ウエキ}守^{モリ}はやうすとも 平
いけや世^セ久^{キウ}ふてあたる丸^{マル}菜^{サイ}を子
不^フ判^{パン}と扱^{サツ}ちる花^{ハナ}と折^セい物^{モノ}は子
絵^エぎぬのすみ煤^{スス}を虫^{ムシ}はとて子
名^ナくおのまゝ宗^{ソウ}鑑^{カン}詠^{エイ}てかくばもの同
上^{ジョウ}あは羽^ウは立^タ帰^キりよそふ 平

此所よ又様えの花咲く子
うくひまでもきけ 奇為氏賀子平

賀子五十九句

由平五十九句

やを

賀子

管天地豆腐見ちてくやの留土
さゆきば月よ挽臼の須弥を舟
二万里此羽箒掃くころく同
蒙古があら人さく枕よぶ子
自刻の火焰がふきあゝ同
おめくくよけ味喰けをかうえ舟
関越くくく身侍君の杜鵑同
陽気嵐や染りけの板子

又喧嘩天狗何長傍ゆたう同
元乃坊者がふみぬしより舟
又舟の指詰の舞其室今も同
明る候しま付友の神子
溝糸の坊主難西思ふ式同
ふまのと元生責くるの比は舟
遊我子親るののもく同
浪人鬼を介保け利子
う借屋誰の位べきやうも同

二
関所のま垣なげども出舟
あめあは戸助定六翻なる同
大裏若浪月の影をて次子
時也花車れ梢牛いる同
休ふまいるを船新舟
法眼の象が透身て走庭同
那ふ義よをなりの山子
されうそのり野良の象く同
悪ふはものを叫ぶ猿あり舟

話けども競走の下枝路まで同
阮法余のゐなげくこゆ子
み茶屋此仔焼軒頼うすく同
ろきともたうしは石花沢舟
版中此染るまいとく根をえな同
あれはあうとて同類の鴨子
あふもくや一休右はるる同
月よりなるれ地を染るが足舟
星の星を盛方極は繋り同

ウ 夏^{ウキ}勤^{ツトメ}とて何れ風懐^{ゼイ}家^カ子
ウ 本^{モリ}食^{シキ}やなうとて衣^イ此袖^{スベ}紋^{モン}同
侍^{マタ}せの孫^ミ勤^{ツトメ}侍^イりのせや舟
漆^シ屋^ヤ此井^イの^{アサ}日^{ワテ}山^サ此林^シ原^ハ同
うげさへいゆる一巡の箱子
内^{ナイ}説^{セウ}の羽^ウを仕^シ舞^マへば氣^キづき同
女^メまぐくは今^{イマ}まて—— 夏^{ナツ}舟
評判^{ヒョウバン}ある首^{ウタ}の通^{ツウ}詠^{エイ}うとてや同
思^{オモ}ふ火^ヒはくは河^カ内^{ノウ}のふれ子

風吹ハ沖津白波など詠ぐり同
流人ちりてハ花もたなま清舟
空くくして諸代の丁が立降る同
年真のこりく幽也毫子
お慈悲ぬ東月ぞあざや同
如來のむろ乃相坂舟
極樂のろ指とろあふろ同
管ののろろろろろろろ子
櫓定四方れあろろろろ同

山より山より桑武者ちりぬ舟
奈良おれろろろろろ同
そ怖ろ油煙子
くろろろろろの動出同
竹田が林さやいも毛をふく舟
あれ屋形化ろろろの松一本同
皮り平れろろろろろ子
山ハ三井名ろろろろ同
越ろろのろは淨安初ろろ天舟

月人が風呂れぬ糸、洗踏て同
女床の泊り定まり乃慈子
思ひあまころの肉まき日山同
泪下日は生る傘
人といぬ飴の梅れ木がくれや同
寵を捨てるを人のる子
山巖地蔵公のかよえぬも同
よめく三吉野洞具が獄舟
岩根及松枝むくまればく同

名
加る筈よなぐり汗の津津子
むふよあつて聲の浦ん波せ同
あぶ名戎で新はれ砥舟
岩櫛れ釣物小舟旁がくれ同
近みの末社来りなり月子
お茶履よ炉の戸かひけ花同
家人の登新流しふ梅舟
せの中れ隠れ老くさく同
淋しきまよはぬ者子

名を娶出入のいふはれやも同
なまけの袂タモト白乳乃家舟
秋来ぬと自菜のやもたり同
角は声あり漆皿の山子
萩蔭強盗市はみづれ合同
沼屋れたをれ冷すや月舟
奢ぬよきふれぬふとあり同
やぶれ草鞋松より事とふ子
琴の音は母の生麩のほふ同

三位かくれくく箸のホ林舟
下陰は骨の萩政あをれも同
一來法師布イテライ絶を戴イタダク子
是も又吻の山北奥ちかく同
袖よりとよる板の筑波根舟
は面コモ電カク皮面モ燭シヨク臺ダイ雜カキ立る同
さうひふるよなげぶの町子
引ヒッ被る羽織カデ取中れを室る同
風打のづくフウ碁イえの江同

破家山バカサンは花をささるゝ夜とて、舟
生イかみくゝ大見イミ仙人同

賀子五十句
舟五十句

追加

京高改

三サン夕セキれむーやモト燭モトく人コ秋
まマはハいイぬヌをヲ猿エミ猴コウの月賀子
峯ミナト風証フエはかカるル方ホウもモ同
一村イツぬれニレりあアるルのノ改
分別セツのノ友トモをヲせセるル人ニ次ジ同
孝コウ子シとあるアルもモ撰セン定テイのノ子
箱ハコのノ門カド見ミものモノてテるルのノ声コエ同
久キウさはサハ流リウくク柳ヤナギ屑クセちチるル改

ウ
草枕屋敷の友や破る人同
持病志きあう松の下風子
よそのやそ悪性なる命を逃ゆ同
あの世契りよ今旦那寺政
ねもはれく一夜さ奇を仕ん同
よう鼠ね煩悩の猫子同
戸隅は牙挺にれば火燧あり同
欠落の科をとりおあせて政
たは杖ふともなうハね浦同

仕組のつめてをのづきぬく子
後よりまゝ夫婦をみて心を
是みぬのなぬ年をうて友政
扱立てむは虎はあ月よ和田同
人よせそ荏さのりなをふく子
小浜市ありたはちうまやの友同
今歩日キリの指をうて次政
上下宿とろく取れ親人形同
去大名のお伽あごなる子

あ、ほせ利銀さ、こゝ中の恋同
志なれ次才よきゆとけ後改
を折りこをきりて宇津の同
襟と袖との着のりそみち子
和衣りのりて松よあなれ同
西のりてやれさハざこり秋改
おるれ泪け時天津局同
月ころほ里七十又所子
作天く今字館よるゑ同

時筋のなみふもと川改
るるざれの死智の枕の物あじ同
氷のりてあよ息をふきのけ子
三つよこをなさんと思ひの同
又使宣よあへばやれく政
事觸よ皆とくまはく其又利同
洗紙の烏帽子松ものげよ立同
奥のりてへるあよはねてむ遊子
ゆ不刑て珍重也珍重のま同

高政二十万
加天子二十万



昭和十七年四月十八日依野間光君氏宛寫本轉寫
原本栗田元次氏宛

原稿



今日正午まで大東亞戦
初の敵機来襲。一同平然たり

